

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 4 学年 1 組～ 組
 教科担当者： （1 組： 木村）
 使用教科書： （ 数Ⅱ705 「高校数学Ⅱ」 実教出版 ）

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形と方程式、微分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	・座標平面上の異なる2点から等しい距離にある点の座標を、2点間の距離を求めることを利用して考察できる。 ・直線の方程式や2点間の距離を利用して、原点と直線との距離を考察できる。 ・日常の事象を数学的に捉え、導関数を利用して問題を解決することを考察できる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・直線上の点や平面上の点について、その座標を理解し、内分点や外分点を考察する。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 直線上の点の座標と内分・外分 2. 平面上の点の座標と内分・外分 ・教材 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 ・直線上の2点間の距離や、線分を内分する点・外分する点の座標を求めることができる。 ・座標平面上の2点間の距離や、線分を内分する点、外分する点の座標を求めることができる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 【思考・判断・表現】 ・座標平面上の異なる2点から等しい距離にある点の座標を、2点間の距離を求めることを利用して考察できる。 ・座標平面上の2点の midpoint の座標を利用すると、三角形の重心の座標が求められることを考察できる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・直線上の点や座標平面上の点について、いろいろな距離や座標を求めることに興味をもち、調べようとしている。 (授業態度・課題提出)	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	・直線の傾きに注目して、ある直線に平行な直線や垂直な直線の方程式を求めることを学ぶ。 ・直線の方程式は、すべてxとyの方程式 $ax+by+c=0$ の形で表されることを学ぶ。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 直線の方程式 2. 2直線の関係 ・教材 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 ・座標平面上のいろいろな直線を方程式で表すことができる。 ・直線の傾きに注目して、平行な2直線や垂直な2直線を調べることができる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 【思考・判断・表現】 ・ある直線に平行な直線や垂直な直線について、その方程式を求めることを考察できる。 ・直線の方程式や2点間の距離を利用して、原点と直線との距離を考察できる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・座標平面上の直線の方程式は、すべて $ax+by+c=0$ の形で表されることに興味をもち、調べようとしている。 (授業態度・課題提出)	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 理科 科目 地学基礎

教科：理科 科目：地学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年 1 組

教科担当者：（ 1 組：長田 和子）

使用教科書：（ 東京書籍 地学基礎 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察・実験・調査などを行って得た結果について科学的に思考し、判断する。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			配当 時数	
			知	思	態		
1 学 期	1編 私たちの大地 【知識及び技能】 ・地球の形や大きさについて理解している。 ・地球の内部構造とその動きについて理解している。 ・火山活動と地震の関連性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球上に存在するプレートの動きを説明することができる。 ・地震が発生する仕組みを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球の構造や火山活動とそれに付随する災害について知識を習得しようとしている。	【指導事項】 教科書に準じてプリントの空欄を埋めていく。 【教材】 教科書、授業プリント、ファイル ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・定期テスト ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト ・実験プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	14
	2編 私たちの海と大地 【知識及び技能】 ・地球の大気構造について理解している。 ・大気と海水の運動について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球の大気循環を説明することができる。 ・海水の循環を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大気構造や海水の運動について知識を習得しようとしている。	【指導事項】 教科書に準じてプリントの空欄を埋めていく。 【教材】 教科書、授業プリント、ファイル ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・定期テスト ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト ・実験プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	15
	3編 私たちの宇宙の誕生 【知識及び技能】 ・宇宙の構造について理解している。 ・宇宙がどのように進化していったか理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・宇宙が誕生するまでの流れを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・宇宙の構造と進化について知識を習得しようとしている。	【指導事項】 教科書に準じてプリントの空欄を埋めていく。 【教材】 教科書、授業プリント、ファイル ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・定期テスト ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト ・実験プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	14

2 学期	<p>4編 私たちの地球の歴史</p> <p>【知識及び技能】 ・地層がどのように形成されたか理解している。 ・地球の歴史について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・地層から読み取れる情報を説明することができる。 ・地球史を説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・地層と地球の歴史について知識を習得しようとしている。</p>	<p>【指導事項】 教科書に準じてプリントの空欄を埋めていく。</p> <p>【教材】 教科書、授業プリント、ファイル</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・定期テスト ・小テスト</p> <p>【思考・判断・表現】 ・定期テスト ・実験プリント</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント</p>	○	○	○	15
3 学期	<p>5編 地球に生きる私たち</p> <p>【知識及び技能】 ・日本の自然の恵みについて理解している。 ・日本における自然災害の防災方法について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・現代の地球環境での問題点を説明することができる。 ・日本における防災方法を説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の自然の恵みと防災方法について知識を習得しようとしている。</p>	<p>【指導事項】 教科書に準じてプリントの空欄を埋めていく。</p> <p>【教材】 教科書、授業プリント、ファイル</p> <p>・一人1台端末の活用 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・定期テスト ・小テスト</p> <p>【思考・判断・表現】 ・定期テスト ・実験プリント</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント</p>				<p>18</p> <hr/> <p>合計</p> <hr/> <p>76</p>

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年

教科担当者：（1組：内田 中村 ）

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種目の歴史やルールを知り、簡単な動きから複雑な動きを習得できるようにする。其々の運動種目の体の動きの着目し、より効果的かつ合理的な体の使い方ができるようにする。	体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うことができるようにする。	運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 陸上競技（ハードル） バドミントン	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	14	
	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	スポーツテスト種目の練習測定 バドミントン ソフトボール	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	14	
2 学期	・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	テニス 卓球 水泳	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	19	
	・体力や運動の能力など、程度や性別等の違いを超えて仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	バドミントン バレーボール サッカー	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	20	
3 学期	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	持久走 バスケットボール	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	9	
							合計	76

大崎 高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年 1 組

教科担当者：（1組：門倉光太郎）

使用教科書：（17教出 音 I 7 0 1 教育出版 音楽 I Tutti+ ）

教科 0 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 0 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な表現形態による歌唱表現、器楽表現の特徴について理解し、身体、楽器の使い方の技能、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、表現する。併せて文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、伝統音楽の種類と特	音色、リズム、旋律を知覚し、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図を持たせる。	音楽を歌唱、器楽、鑑賞と様々な視点から捉えようとするに関心をもち、主体的・協働的に音楽と触れ合い、それを通して心の豊かさを養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創	鑑 賞					
1 学 期	親しみやすいJ-POPの歌を楽しみながら高校の音楽学習への意欲を養う。 自分にとっての音楽の存在を再認識するとともに様々な音楽に自ら積極的に関わり、音楽を幅広く様々な視点から捉えようとする態度を養う。	少年時代 君に届くまで 小さな空 歌声づくりのエクササイズ 音楽経験アンケート（自作教材）	○				行動観察、実技試験	○		○	9
	日本語の抑揚や間、語感、歌詞としてのまとまりが旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心をもち、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。	夏の思い出 この道 浜辺の歌 椰子の実 歌声づくりのエクササイズ	○				行動観察、実技試験		○	○	7
	ベートーヴェンの交響曲を通して、オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりするおもしろさを味わいながら聴く。	交響曲第5番から第1楽章 交響曲第6番「田園」から第1楽章				○	作業物提出	○		○	2

2 学 期	キーボードの知識、奏法を身に付けるとともに音楽表現を創意工夫しながら器楽演奏の楽しさを味わう。	喜びの歌(自作教材) 簡単な左手伴奏								○	○	14	
	外国語の言葉の特性と旋律やリズム、構成などとの関わりに関心を持ち、言葉の抑揚や言語のもつ質感を捉えながら表情豊かに歌う。	我が太陽 Santa Lucia Yesterday								○	○	○	9
	他者との調和を意識したり、ヴォイス・アンサンブルの特徴を生かしたりしながら、自分たちのイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。	A whole new world								○	○	○	6
	ギターの奏法(主にコード抑え)を身に付けるとともに楽曲の音楽表現を創意工夫しながら楽しさを味わう。	コード抑え(コード表参照) 翼をください								○	○		9
	オペラやミュージカルなどの総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響を合って発展してきたかを考える。	ウエスト・サイド物語 本編 America Tonight										○	4
3 学 期	ギターの奏法(主にコード抑え)を身に付けるとともに楽曲の音楽表現を創意工夫しながら楽しさを味わう。弾き語りにも挑戦する。	翼をください 夢の中へ(自作教材)								○	○	4	
	1年間の音楽学習のまとめ。音楽Iで学習した教材から、クラス全体での合唱や器楽アンサンブルをしたりしながら、音楽活動の喜びや楽しさを味わう。	一年間に学んだ歌唱楽曲全て								○			2
											合計	70	

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 1組

教科担当者： (1組：酒巻葉月

使用教科書： (All Aboard! English Communication II)

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】基本的な語句や文を習得し、聞く・話す・読む・書くの各技能を向上させる。

【思考力、判断力、表現力等】基本的な語句や文を用いて、必要な情報や気持ちなどを目的に応じて伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】話し手や書き手の意図を理解しようと努力し、自らも積極的にコミュニケーションをはかる。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な語句や文を習得し、それらを駆使して、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりできる。	話し手、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	話し手や書き手の意図をよりよく理解しようと努力し、自らも積極的にコミュニケーションをはかろうとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 〔 や 〕	書 〔 発 〕						
1 学期 Seeds for Future Generations 【知識及び技能】動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。 定期考査	・指導事項 動詞の目的語になるif節 ・教材 教科書・授業プリント ・一人1台端末の活用	○	○	○	○					6	
	With the Beatles 【知識及び技能】関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の人々と交流する方法について、英語で述べるができる。 【学びに向かう力、人間性等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。 定期考査	・指導事項 比較表現 ・教材 教科書・授業プリント ・一人1台端末の活用	○	○	○	○					6
	Wild Men 【知識及び技能】知覚動詞の用法の文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。 定期考査	・指導事項 itの用法 ・教材 教科書・授業プリント ・一人1台端末の活用	○	○	○	○					6
2 学期 Little Hero 【知識及び技能】使役動詞が用いられた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】社会的な問題について、英語で意見を述べるができる。 【学びに向かう力、人間性等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。 定期考査	・指導事項 間接疑問文 ・教材 教科書・授業プリント ・一人1台端末の活用	○	○	○	○					6	
	Special Make up in Kabuki 【知識及び技能】分詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】人を受ける職業について、英語で説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。 定期考査	・指導事項 to不定詞 ・教材 教科書・授業プリント ・一人1台端末の活用	○	○	○	○					1
	定期考査										1
										45	

年間授業計画

高等学校 令和8年度（4 学年用） 教科 情報 科目 課題研究

教科： 情報 科目： 課題研究 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 4 学年 1 組～ 組
 教科担当者： (1 組： 山口) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教材： ()
 教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 コンピュータの活用について理解し、リテラシーを身につけているとともに、情報社会について理解している。情報システムやコンピュータウイルスについて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 ネットワークを通じた効果的な情報伝達、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切に使い、ネットワークモラルなどを学んでプレゼンできる能力を養う

【主体的に学習に取り組む力】 ピクトグラム制作やPOSシステムの制作を通じて、情報デザインやデータベースを知り、実践に生かす能力を養う

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む力】
コンピュータの活用について理解し、リテラシーを身につけているとともに、情報社会について理解している。情報システムやコンピュータウイルスについて理解する。	ネットワークを通じた効果的な情報伝達、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切に使い、ネットワークモラルなどを学んでプレゼンできる能力を養う	ピクトグラム制作やPOSシステムの制作を通じて、情報デザインやデータベースを知り、実践に生かす能力を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	わたしたちの生活で活用されているインターネット、活用しているうちにあまりにも依存してしまい、日常生活に支障がでてしまうこと等の影響が出て来ることを理解する。	オリエンテーション ・ネット社会のモラルとマナー ・ネット上のコミュニケーション ・ネットの活用と依存	【知識・技能】 ネット社会のモラルとマナーに関する知識を把握できる 【思考・判断・表現】 ネット社会のモラルとマナーを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分自身のネット社会のモラルとマナーを考えて学んだことを活用することができる	○	○	○	6
	メディアの発達とコミュニケーションの形態の変遷について理解する。 オンラインコミュニティの特性や課題、個人の責任について理解する。	ネットワークがつなぐコミュニケーション ・メディアとコミュニケーション ・ネットワークの動作の仕組み	【知識・技能】 メディアとコミュニケーションに関する知識を把握する 【思考・判断・表現】 ネットワークの仕組みを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 メディアの発達やコミュニケーションの変化を学び、自分自身のコミュニケーションにいかすことができる	○	○	○	2
	インターネットでのデータのやり取りの仕組み、機器の識別の仕方について理解する。 ・情報セキュリティについて学ぶ。また、情報社会における様々な法律を学び、それを生かして情報モラルを考える力をはぐくむ	情報システムが支える社会 ・情報社会と情報システム ・安全な情報社会を目指して ・情報セキュリティ ・情報社会における法律	【知識・技能】 情報システムに関する知識を把握できる 【思考・判断・表現】 情報セキュリティに関する機器を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会における法律を理解し、日々の生活の中で活用することができる	○	○	○	6
	・日々、自分たちの生活の中で使っている情報システムについて研究や調査を行う ・コンピュータウイルスによる過去の事件の事例について研究や調査を行う。その内容をレポートにまとめる	課題研究 ・身近にある情報システムについての研究 ・コンピュータウイルスによる過去の事件の事例についての研究	【知識・技能】 コンピュータウイルスに関する知識を把握できる 【思考・判断・表現】 過去の事件からコンピュータウイルスの脅威を理解。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータウイルスの過去の事例について積極的に取り組む	○	○	○	6
2 学 期	情報社会における個人情報保護に関する法律や知的財産権、著作権と著作物のほご活用について理解する。	個人情報と知的財産 ・個人情報保護 ・著作権・知的財産権	【知識・技能】 個人情報保護・著作権に関する知識を把握できる 【思考・判断・表現】 個人情報保護や著作権の大切さを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 個人情報保護の観点を学び、著作権を意識して作品を作ることを学ぶ	○	○	○	4
	・ユニバーサルデザインの概念を学ぶ 身近に使われているユニバーサルデザインの商品を調べ、レポートを作成する ・ピクトグラムの概念を学び、ピクトグラムを作成する	情報デザイン ・ユニバーサルデザイン ・ピクトグラム	【知識・技能】 ユニバーサルデザインに関する知識を把握できる 【思考・判断・表現】 ユニバーサルデザインを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ピクトグラムの考え方をういて、自らのオリジナルを生かしてピクトグラムの作成を行う	○	○	○	10
	データベースに関する基礎的な知識を理解する。リレーショナルデータベースを作成する	モデル化と問題解決 ・情報の蓄積・管理とデータベースのしくみ	【知識・技能】 データベースに関する知識を把握できる 【思考・判断・表現】 データベースの構築を学ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データベースの仕組みや構築の手法を使い、適切なデータベースを作成することができる。	○	○	○	6
	グループによる問題解決の利点と留意点について理解する。	情報通信ネットワークと問題解決 ・グループによる問題解決	【知識・技能】 問題解決による利点と留意点を把握できる 【思考・判断・表現】 グループによる問題解決によって新たな手法を学ぶことができる	○	○	○	4

3 学 期			【主体的に学習に取り組む態度】 自ら意見を出し合い、ほかの人とも協力してグループに貢献することができる <input type="checkbox"/>	○	○	○	+
	1年間を通して学んだことをまとめ、プレゼンテーションを行い相互理解を深める	課題研究 1年間を通して学んだことをまとめ、プレゼンテーションを行い相互理解を深める	【知識・技能】 1年間を通して学んだことを活用しプレゼンテーションを実行できる 【思考・判断・表現】 プレゼンテーションを行い相互理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 1年間を通して学んだことを活用することができる <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	○	○	○	6
							合計 50

